

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)

【公開番号】特開 2016-48488 (P2016-48488A)
 【公開日】平成 28 年 4 月 7 日 (2016.4.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-021
 【出願番号】特願 2014-173415 (P2014-173415)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/06 (2012.01)

G 0 5 B 19/418 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 Q 10/06 1 3 0

G 0 5 B 19/418 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 5 月 18 日 (2017.5.18)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 7】

本発明の課題は、作業者のスキルレベルを容易に判断することである。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 8】

上記課題を解決するために、本発明の作業管理装置は、作業結果として作業に費やした部材費用を登録する登録手段と、前記登録手段により登録された作業結果に基づいた評価値を作業対象毎に且つ作業内容毎に累積することにより、所定の作業者におけるスキルレベルを前記作業対象毎に且つ前記作業内容毎に導出する導出手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 9】

本発明によれば、作業者のスキルレベルを容易に判断することができる。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】
作業結果として作業に費やした部材費用を登録する登録手段と、

前記登録手段により登録された作業結果に基づいた評価値を作業対象毎に且つ作業内容毎に累積することにより、所定の作業者におけるスキルレベルを前記作業対象毎に且つ前記作業内容毎に導出する導出手段と、

を備えたことを特徴とする作業管理装置。

【請求項 2】

前記登録手段は、前記作業結果として、さらに作業に費やした時間を登録することを特徴とする請求項 1 に記載の作業管理装置。

【請求項 3】

作業結果として作業に費やした部材費用又は作業に費やした時間を登録する登録手段と

、前記登録手段により登録された作業結果に基づいた評価値を作業対象毎に且つ作業内容毎に累積することにより、所定の作業者におけるスキルレベルを前記作業対象毎に且つ前記作業内容毎に導出する導出手段と、

所定の作業対象と作業内容の組み合わせに対して前記導出手段により導出されたスキルレベルを表示させる際に、前記所定の作業対象と作業内容の組み合わせに類似した作業対象と作業内容の組み合わせに対するスキルレベルも併記表示させる表示制御手段と、

を備えたことを特徴とする作業管理装置。

【請求項 4】

コンピュータを、

作業結果として作業に費やした部材費用を登録する登録手段、

前記登録手段により登録された作業結果に基づいた評価値を作業対象毎に且つ作業内容毎に累積することにより、所定の作業者におけるスキルレベルを前記作業対象毎に且つ前記作業内容毎に導出する導出手段、

として機能させるためのプログラム。

【請求項 5】

コンピュータを、

作業結果として作業に費やした部材費用又は作業に費やした時間を登録する登録手段、

前記登録手段により登録された作業結果に基づいた評価値を作業対象毎に且つ作業内容毎に累積することにより、所定の作業者におけるスキルレベルを前記作業対象毎に且つ前記作業内容毎に導出する導出手段、

所定の作業対象と作業内容の組み合わせに対して前記導出手段により導出されたスキルレベルを表示させる際に、前記所定の作業対象と作業内容の組み合わせに類似した作業対象と作業内容の組み合わせに対するスキルレベルも併記表示させる表示制御手段、

として機能させるためのプログラム。